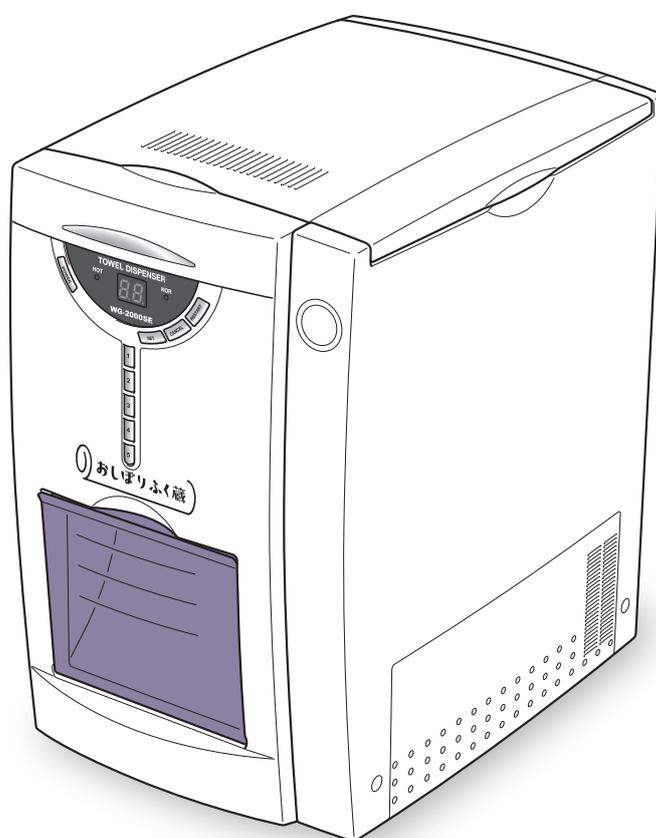


自動おしぼり機

おしぼりふく蔵 WG-2000SE

取扱説明書



- 本製品はこの取扱説明書をよくお読みになり、正しくご使用ください。
- 取扱説明書および保証書は大切に保管し、必要なときにご利用ください。
- ご使用前に必ず「安全上のご注意」をお読みください。

もくじ

| | |
|------------------------------|----|
| 安全上のご注意 | 4 |
| おしぼりふく蔵の特徴 | 6 |
| 使用上のご注意 | 7 |
| 使用する水について | 7 |
| お手入れについて | 7 |
| ロール紙について | 7 |
| 本製品全般について | 7 |
| 各部の名称 | 8 |
| 本体 | 8 |
| 使用する前の準備 | 11 |
| 本体を設置する | 12 |
| ロール紙をセットする | 13 |
| 主電源をオンにする | 14 |
| 給水タンクをセットする | 14 |
| 電源をオンにする | 15 |
| 送水する | 15 |
| 温水モード (HOT)か冷水モード (NOR)を選択する | 16 |
| 使用方法 | 17 |
| 設定方法 | 18 |
| タオルの長さ設定 | 18 |
| ヒーターの温度設定 | 19 |
| 凍結防止用温度の設定 | 20 |
| 水量の設定 | 21 |
| メモリ運転 | 22 |
| カウント機能 | 23 |
| ロール紙が詰まったときは | 24 |
| お手入れ | 25 |
| 異常時の点検項目 | 26 |
| 仕様 | 27 |
| お問い合わせ先 | 28 |

安全上のご注意

本紙では製品を正しく安全に使用するための重要な注意事項を説明しています。
必ずご使用前にこの注意事項を読み、記載事項にしたがって正しくご使用ください。

表示の意味

| | |
|---|---|
|  警告 | 取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷※ ¹ を負うことが想定される内容です。 |
|  注意 | 取り扱いを誤った場合、使用者が軽傷※ ² を負うことが想定されるか、または物的損害※ ³ の発生が想定される内容です。 |

※1重傷とは、失明、けが、やけど（高温・低温・化学）、感電、骨折、中毒などで後遺症が残るものおよび治療に入院・長期の通院を要するものをいいます。

※2軽傷とは、治療に入院や長期の通院を要さないけが、やけど、感電などをいいます。

※3物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットなどにかかわる拡大損害を指します。

| | |
|---|---|
|  | 丸に斜線のマークは「禁止」の内容です。 丸の中には禁止する項目が絵などで表示されている場合があります。 |
|  | 塗りつぶしの丸のマークは「指示」の内容です。 丸の中には指示する項目が絵などで表示されている場合があります。 |

警告



分解や改造をしない。

火災・感電の原因になります。
内部の点検や修理は、お客様ご相談窓口にご依頼ください。

必ず AC100V 50/60Hz の電源で使用する。

電源プラグは必ず上記電圧のコンセントに接続してください。

電源プラグ、電源コードを傷つけない。

加工する、無理に曲げる、引っ張る、ねじる、束ねる、重いものをのせる、挟み込む、高温部に近づけるなどしない。火災・感電の原因になります。

水気の多い場所で使用したり、本体に水をかけない。

感電・火災の原因になります。

濡れた手で電源プラグの抜き差しをしたり操作しない。

感電の原因になります。

電源プラグをなめない。

感電・けがの原因になります。

本体の上に荷物を載せたり、ひじや手をつくなど体重をかけない。

破損して、けがの原因になります。

スプレー缶や熱に弱いものを本製品の上に置かない。

爆発や熱による損傷・故障の原因になります。

アルコールやシンナー、スプレーなどの引火性のものの近くで使用しない。

火災・爆発の原因になります。



電源プラグのほこりなどは、定期的にとる。

プラグにほこりなどがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因になります。電源プラグを抜き、必ず乾いた布でふいてください。長時間使わないときは、電源プラグを抜いてください。

電源プラグは根元まで確実に差し込む。

差し込みが不完全だと、感電や火災の原因になります。傷んだプラグ、ゆるんだコンセントは、使わないでください。

電源コードは必ず伸ばした状態で使用する。

束ねた状態で使用すると、過熱による火災の原因になります。

お手入れするときや移動するときは電源プラグをコンセントから抜く。

異常・故障時はすぐに使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜く。

火災・感電の原因になります。

<異常・故障時の例>

- ・異常な音やにおいがする ・電源プラグや電源コードが異常に熱くなる
- ・電源コードを動かすと、通電したりしなかったりする ・使用中とときき電源が切れる ・ふれるとびりびり電気を感じる

長年使用した場合、経年劣化により部品の不具合がおこることがあります。その状態で使用を続けると、事故になるおそれがあります。

電源プラグをコンセントから抜いて、お買い求めの会社または当社にご相談ください。

 **警告**

 **引火性のあるものを近づけて使用しない。**
 (灯油・ガソリン・シンナーなど) 爆発や火災の原因になります。

取扱説明書に記載のない目的や方法で使用しない。

けが・故障の原因になります。

電源プラグ・電源コードが傷んでいたり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない。

感電・ショート・発火の原因になります。

タコ足配線や延長コードは使用しない。

 **本体や各接続部のすき間にピンや針金などの金属物など、異物を入れない。**
 感電・けが・故障の原因になります。

本製品を乳幼児の手の届くところに置いて使用したり、保管しない。

やけど・けがの原因になります。

お子様や監督が必要な人には使用させない。

思わぬ事故やけがの原因になります。

 **注意**

 **電源プラグを抜くときは、コードを引っ張らずにプラグを持って引き抜く。**
 コードに傷がつき、火災や感電の原因になります。

使用しないときは、電源プラグを抜く。

絶縁劣化などで感電・漏電・火災の原因になります。

本体の使用温度範囲は3℃～35℃です。

この温度範囲以外では本機の性能を低下させたり、破損・故障の原因になります。

 **カッター部に手を触れない。**
 けがの原因になります。

本体にものをぶつかけたり、強い衝撃を与えない。
 液晶モニターが割れたりして、けがの原因になります。

直射日光が当たるところでは使用しない。

おしぼりふく蔵の特徴

おしぼりふく蔵は、業界唯一の除菌液を使用しない自動おしぼり機です。
UV（紫外線）ランプと活性炭フィルターにより、清潔で安心なおしぼりタオルを製造します。

本製品は、医療・介護現場の感染対策、作業者の負担やストレスの軽減を実現します。
サポート体制も充実しており、万が一、本製品に不調が起きても、おしぼりふく蔵サポートセンターが迅速・丁寧に対応いたします。

業界初新機能

- 1) メモリモード：タオルの長さ、濡れ具合を2パターン設定可能
 - 通常モード、メモリーモード①、メモリーモード②
- 2) カウント機能：タオルの作成本数をカウントし記憶
最大6万本までカウント可能

その他の特徴

- 紫外線ランプによる除菌
- 活性炭フィルターによる浄化
- 最高温度95℃まで可能な水温調節
(60℃～95℃および常温の設定が可能)
- タオルの長さの調節が可能(1cm刻みで20cm～35cmの設定が可能)
- 水量の調節が可能
- 連続運転が可能(1本～50本の範囲で連続製造が可能)

使用上のご注意

使用する水について

- 必ず常温の水道水を使用してください。
- 浄水器の水、アルカリイオン水、ミネラルウォーター、地下水、井戸水は使用しないでください。薬液等を使用する場合はご相談ください。

お手入れについて

- 本体の外観は定期的に清掃してください。
- タオルトレイ、水受け皿は毎日清掃してください。
- 給水タンク、給水タンクベースは1～2週間に1度清掃してください。
- ロール紙収納部周辺とシリコンベルトユニット周辺は1カ月に一度清掃をしてください。
 - ※ 衛生的にご利用いただくため必ず定期的な清掃を行ってください。
 - ※ 本体の清掃方法は25ページ「お手入れ」を参照してください。

ロール紙について

- おしぼりふく蔵に使用されるロール紙は専用ロール紙をご使用ください。
- ロール紙はラベルシールを剥がし、ずれがないように所定の位置へ確実にセットしてください。
- 専用ロール紙は清潔な場所に保管してください。
 - ※ 直射日光が当たる場所、高温多湿の場所では保管しないでください。
- おしぼりふく蔵専用ロール紙以外をご使用された場合、本体の故障の原因となります。
 - ※ おしぼりふく蔵専用ロール紙以外をご使用されての故障・事故に関しては一切の責任を負いかねますので予めご了承ください。

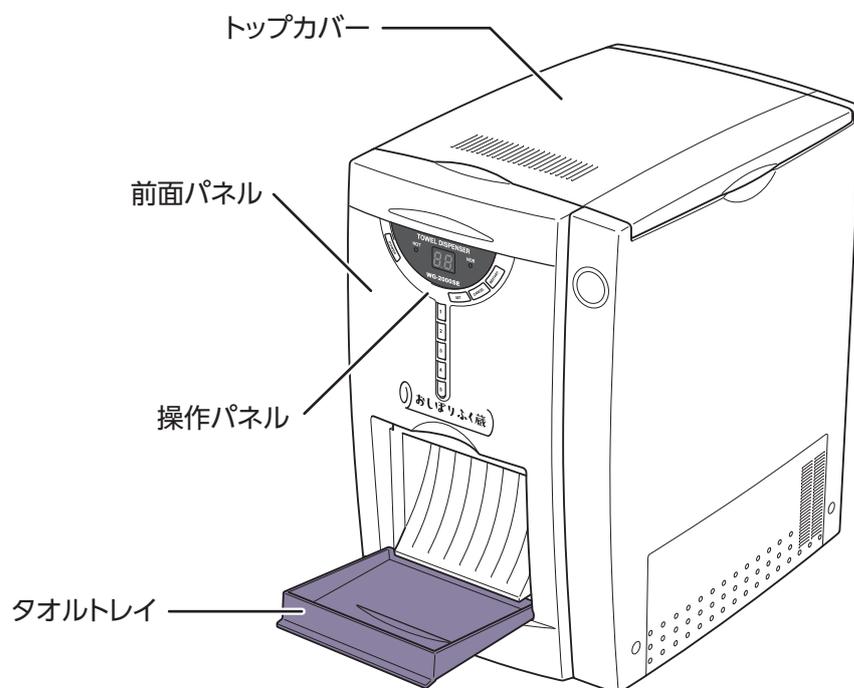
本製品全般について

- 本体を長時間使用しない場合は電源コードを抜いて、排水コックを外し本体内に残っている水を完全に抜いてください。
- 本体清掃時は部品に水がかからないよう注意して作業してください。
- 本体に関してご不明な点がございましたら代理店、または販売店にご連絡ください。

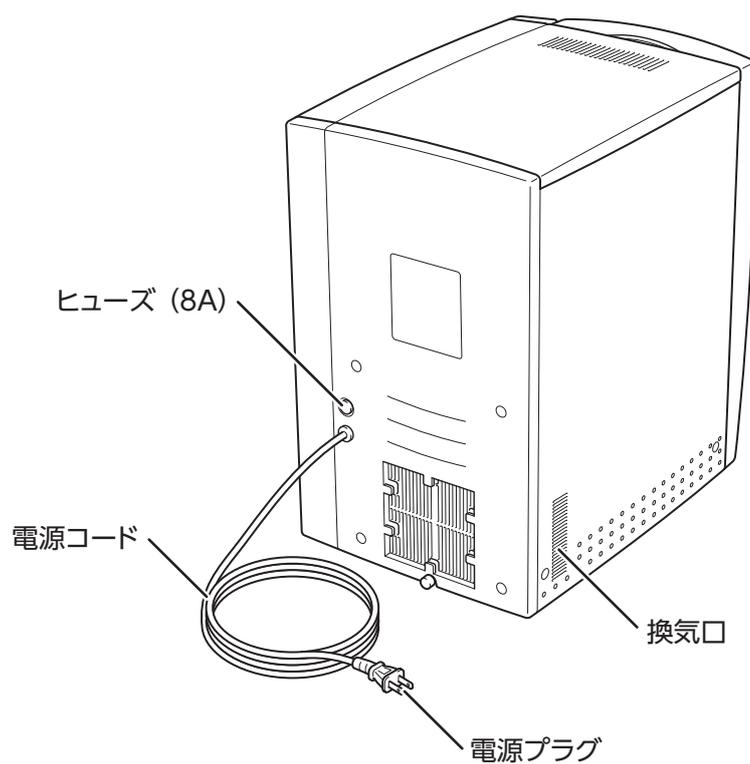
各部の名称

本体

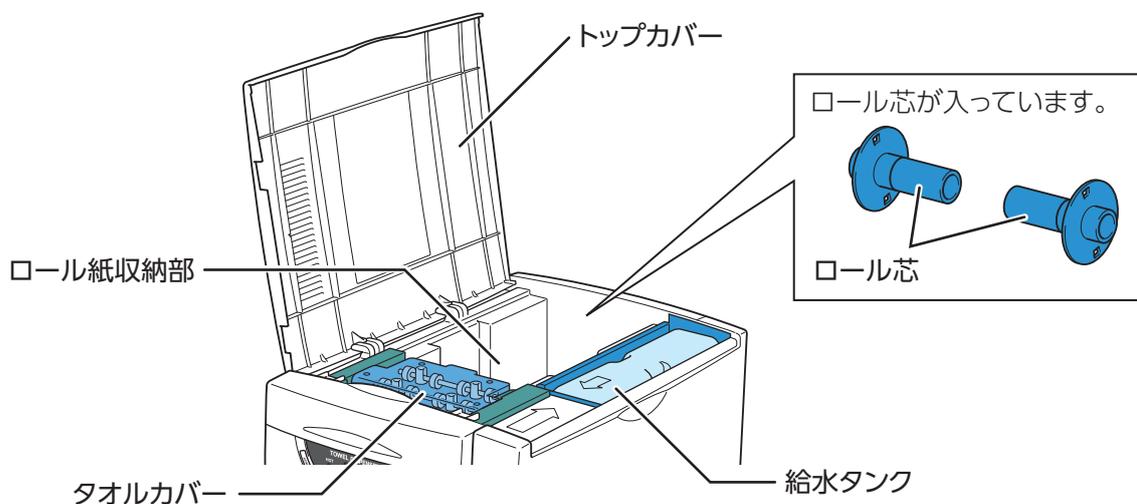
本体正面



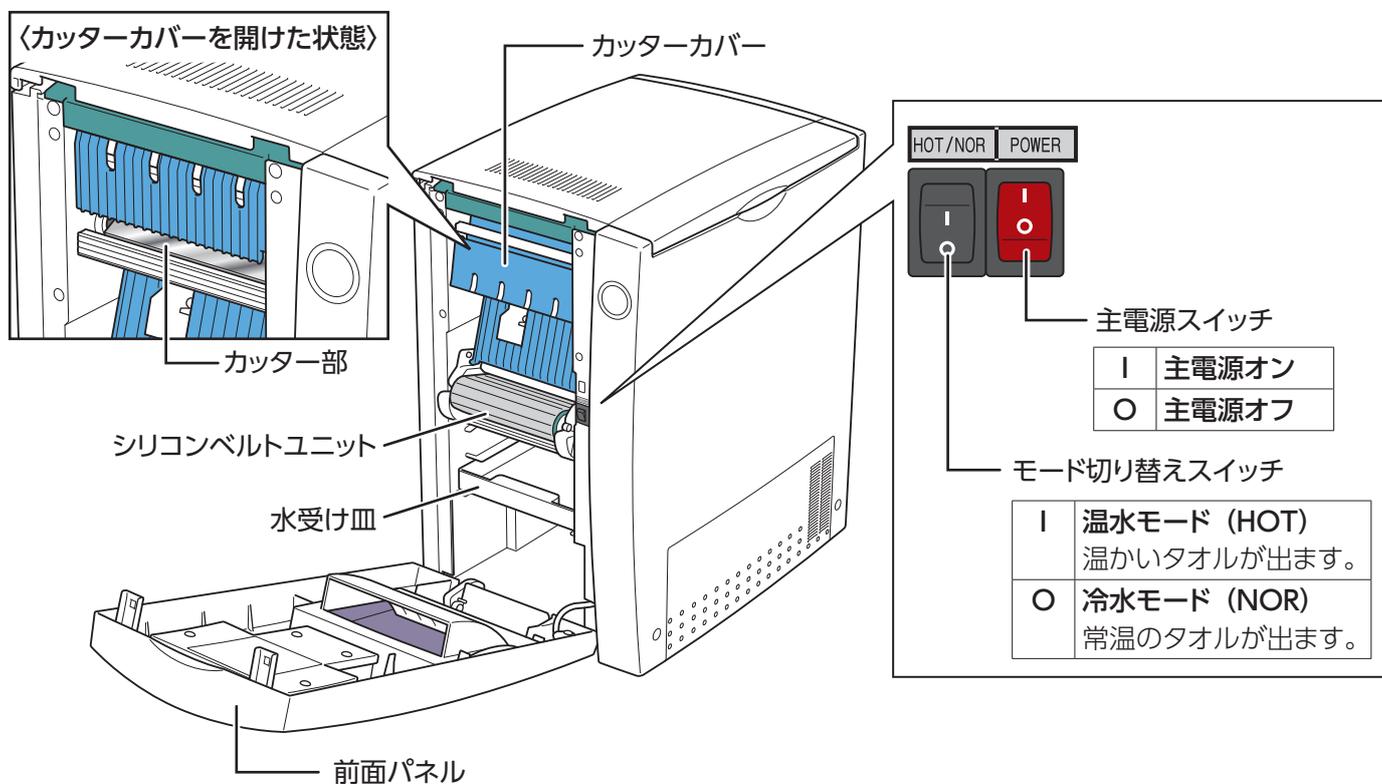
本体背面



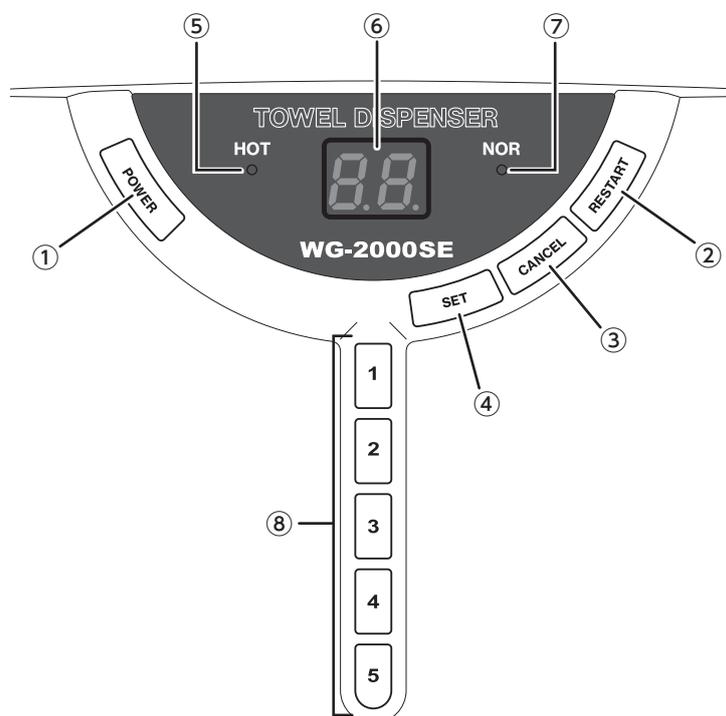
本体上面(トップカバーを開けた状態)



本体内部(前面パネルを開けた状態)



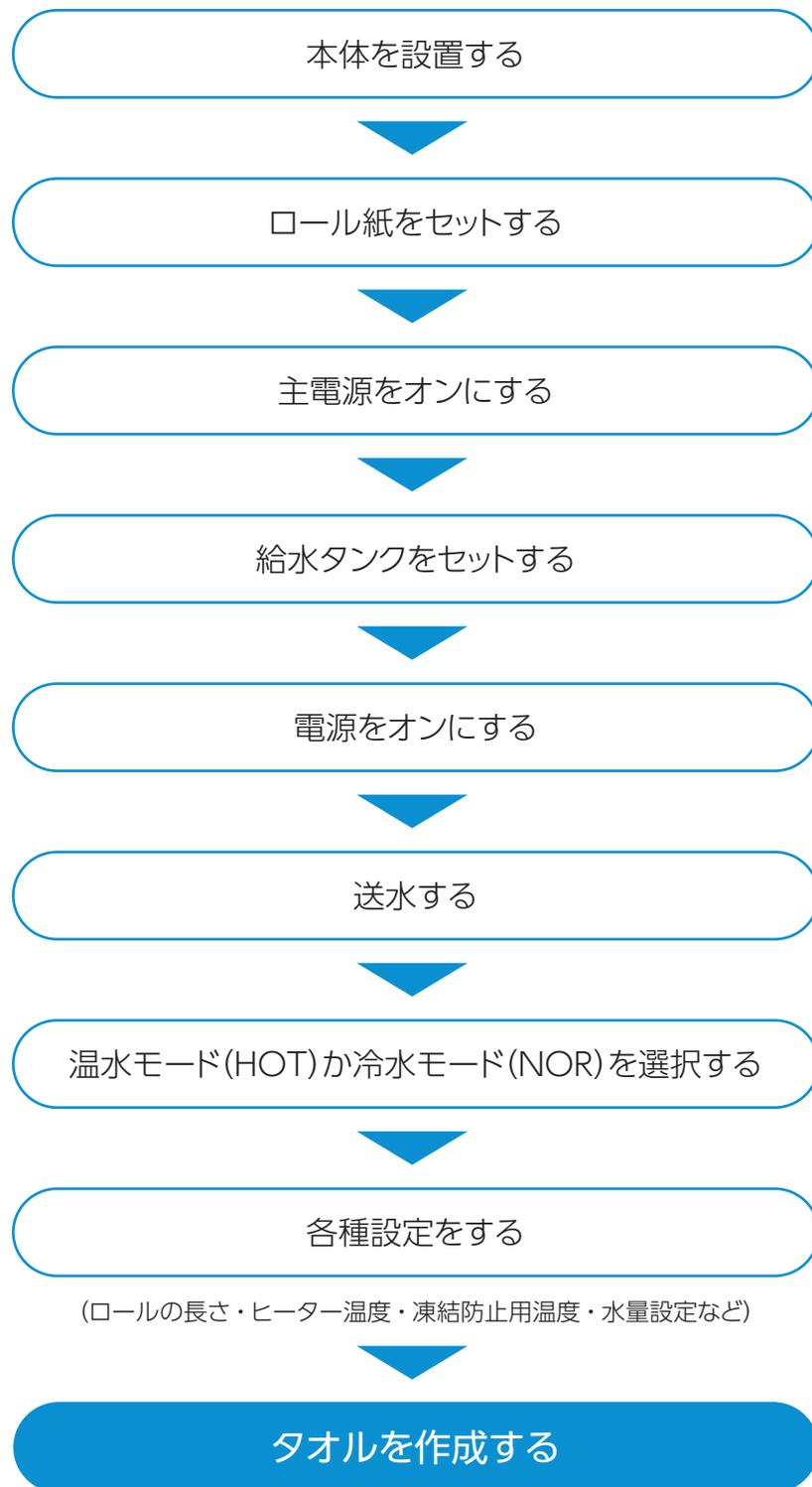
操作パネル



| | | |
|---|-------------------|--|
| ① | 電源(POWER)ボタン | 長押し (2 秒～ 3 秒) すると、電源が入り、表示ディスプレイに数値が表示されます。 再度長押しすると、電源がオフになります。 |
| ② | リスタート(RESTART)ボタン | 機能操作、またはタオルの再作成を行うときに使用します。 通常時に数値が表示されている状態でリスタートボタンを押すと、表示されている数値の本数分タオルを作成します。 |
| ③ | 取消(CANCEL)ボタン | 各種設定や機能操作中に取り消し操作を行うときに押します。 タオルを作成している途中で取消ボタンを押すと、それ以降のタオル作成を中止します。 |
| ④ | 入力(SET)ボタン | 各種設定や確定操作を行うときに使用します。 (18 ページ「設定方法」参照) |
| ⑤ | 温水(HOT)ランプ(赤色) | 温水モード時は温水ランプが点灯します。 |
| ⑥ | 表示ディスプレイ | 各種数値、エラーコードを表示します。 |
| ⑦ | 冷水(NOR)ランプ(緑色) | 冷水 (常温) モード時は冷水ランプが点灯します。 |
| ⑧ | 数量ボタン | 数値の本数分のタオルを作成します。 |

使用する前の準備

本機をはじめて使用するときには、以下の手順でセットアップをしてください。



本体を設置する

以下の点に注意に注意して設置します。

- 換気口をふさいだ状態で使用しないでください。

故障の原因になります。

- 電化製品の周辺には設置しないようにしてください。

周辺に過電流および負荷が発生すると誤作動および故障の原因になります。

- 水平で安定した場所に設置してください。

本体が傾いた状態で設置すると故障・動作異常の原因になります。

- 湿度の高い場所に設置しないでください。

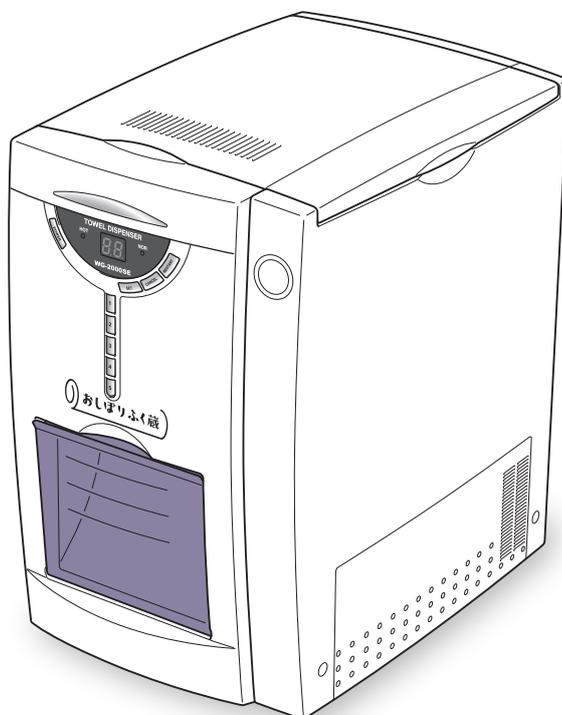
湿度の高い場所に設置すると故障・動作異常の原因になります。

- 本体の上に物を置かないでください。

物を本体の上に置いた状態で使用すると破損・故障の原因になります。

- 使用温度範囲以外の場所や湿度の高い場所に設置しないでください。

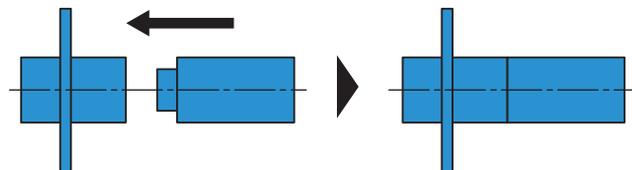
使用温度範囲以外の場所や湿度の高い場所に設置すると、破損・故障・動作異常の原因になります。



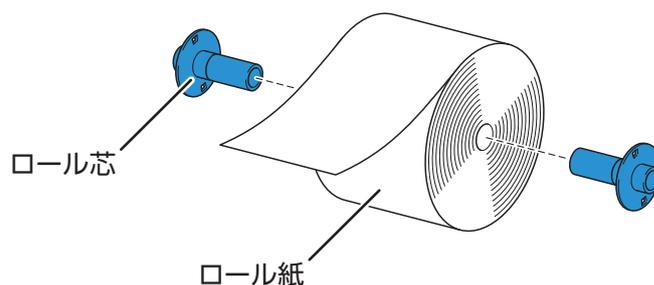
ロール紙をセットする

使用する前は以下の手順でロール紙を本体にセットしてください。

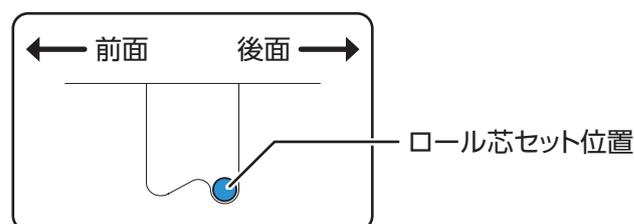
- 1** ロール芯を組み立てる。
(工場出荷時は組み立てられている状態です)



- 2** ロール紙にロール芯をセットします。

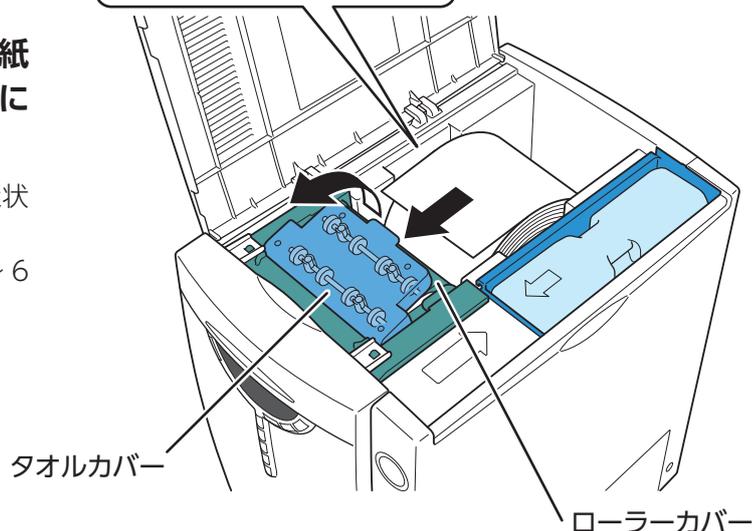


- 3** ロール紙をセットしたロール芯を、本体のロール芯セット位置にセットします。



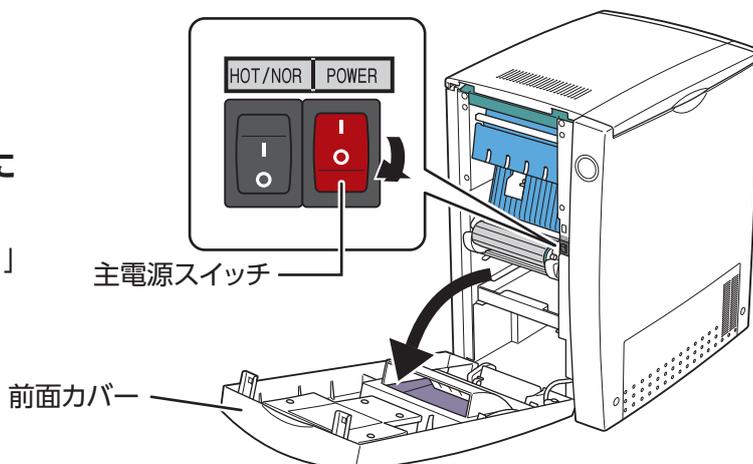
- 4** タオルカバーを少し持ち上げ、ロール紙をタオルカバーとローラーカバーの間にきれいに整えて挿入します。

- ロール紙は、たるみがないようにピンと張った状態にしてください。
- ロール紙はローラーカバーの端から約 5～6 cm くらいまで挿入します。



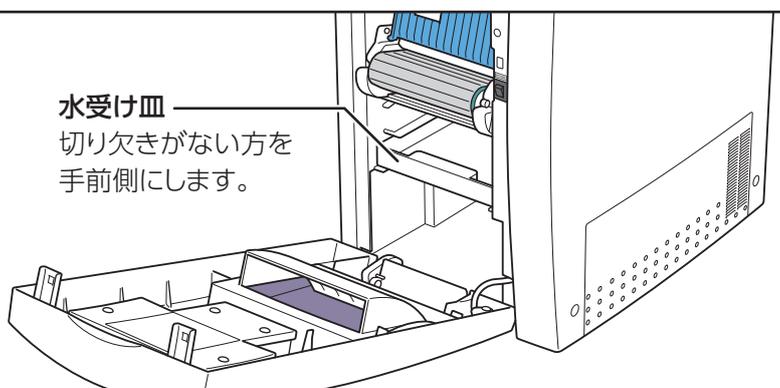
主電源をオンにする

- 1 前面カバーを開けます。
- 2 主電源スイッチをオン（|）の方向に押します。
電子音（ピー）が鳴り、表示ディスプレイに「F1」と表示されます。
- 3 前面カバーを閉じます。



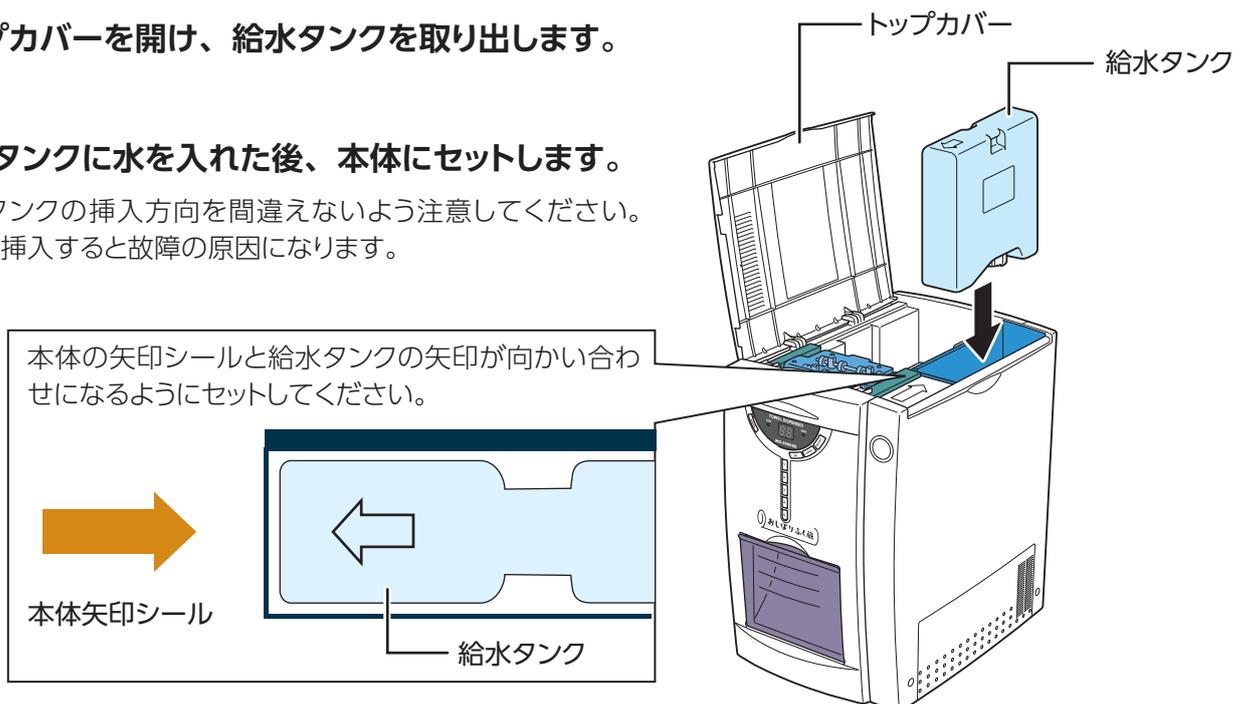
お願い

水受け皿の向きについて
前面カバーを閉じるときは、水受け皿が図の向きになっていることを確認してください。逆になっていると、前面カバーが閉じません。



給水タンクをセットする

- 1 トップカバーを開け、給水タンクを取り出します。
- 2 給水タンクに水を入れた後、本体にセットします。
給水タンクの挿入方向を間違えないよう注意してください。誤って挿入すると故障の原因になります。

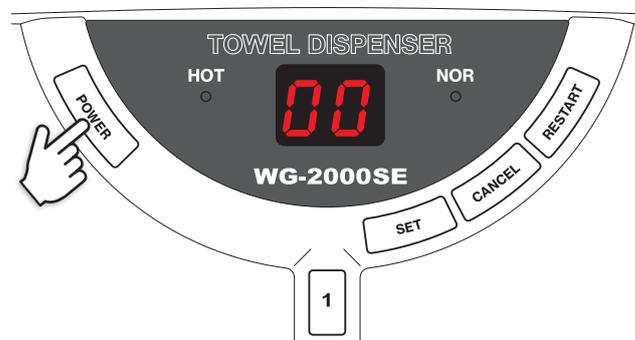


お願い 水道水以外は使用しないでください。

電源をオンにする

- 1 前面カバーを閉じます。
- 2 電源 (POWER) ボタンを長押しして電源をオンにします。

電子音 (ピー) が鳴り、表示ディスプレイに「00」と表示されます。



送水する

お願い 初めてお使いになるときは必ず送水作業を行ってください。
出荷時は本体に水が送られていないため、送水作業を行わずに使用すると、タオルが濡れなかったり、故障の原因になります。

- 1 前面カバーを開けます。
- 2 モード切り替えスイッチを「NOR」(○) の方向に押します。

出荷時は「NOR」(○) になっています。

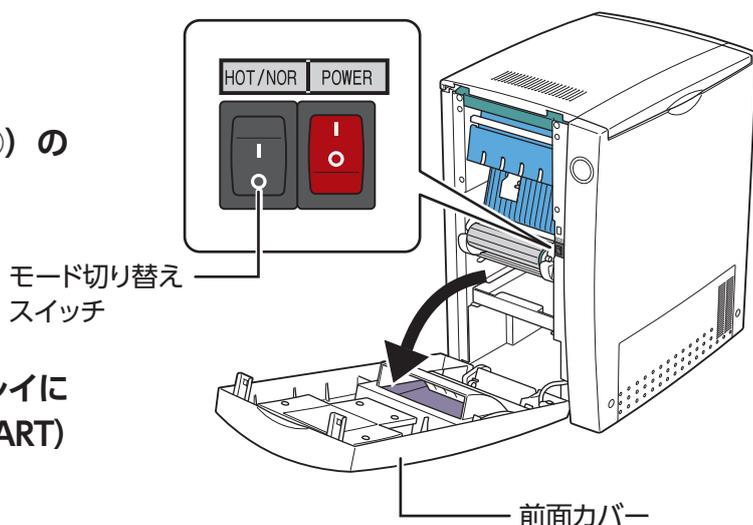
- 3 電子音 (ピー) が鳴り、表示ディスプレイに「E5」と表示されたら、リスタート (RESTART) ボタンを押し続けます。

- 4 シリコンベルトに水が噴きつけられたら、リスタート (RESTART) ボタンから手を離します。

送水は 3 ~ 5 分程度行われます。

- 5 送水が完了したら、前面パネルを閉じます。

ホットを選択する場合は、モード切り替えスイッチを「HOT」(|) の方向に押ししてから前面カバーを閉じてください。

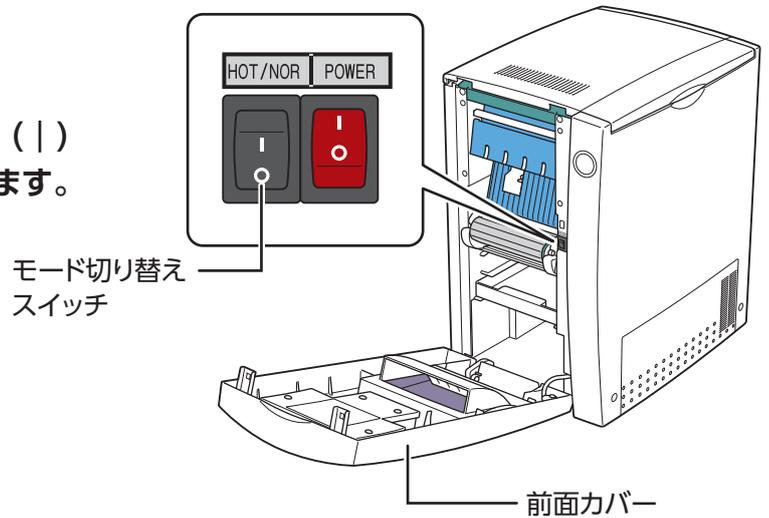


注意

送水作業を行う場合は、周囲を濡らさないように十分に注意しながら作業してください。

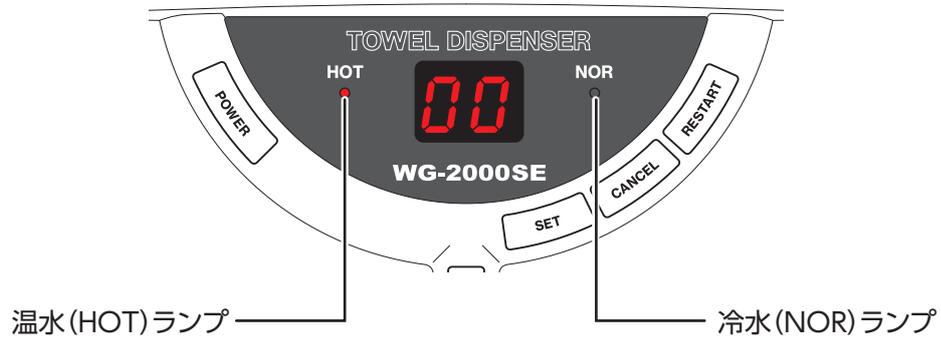
温水モード(HOT)か冷水モード(NOR)を選択する

- 1 前面カバーを開けます。
- 2 モード切り替えスイッチを「HOT (温)」(|) または「NOR (冷)」(○) の方向に押しします。
- 3 前面カバーを閉じます。



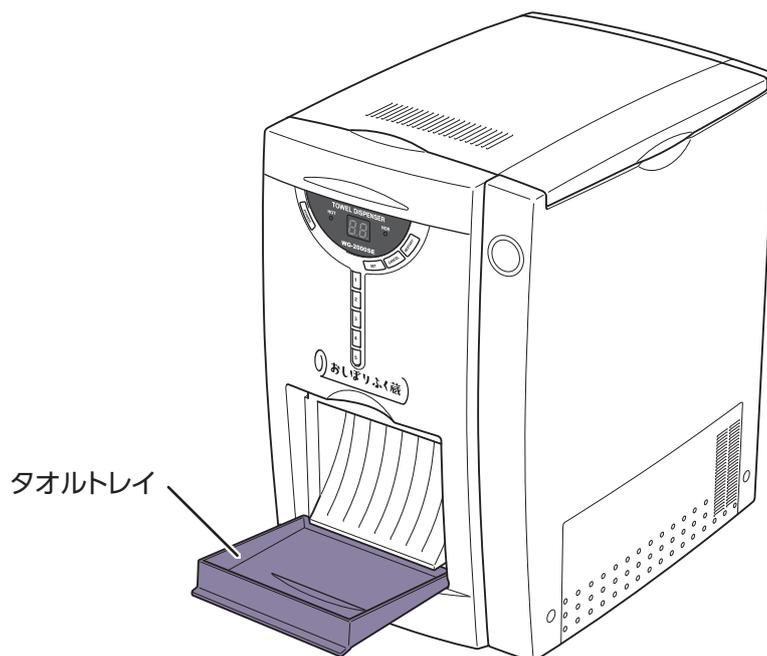
MEMO

選択した温度設定は、表示ディスプレイの温水 (HOT) ランプと冷水 (NOR) ランプで確認することができます。



使用方法

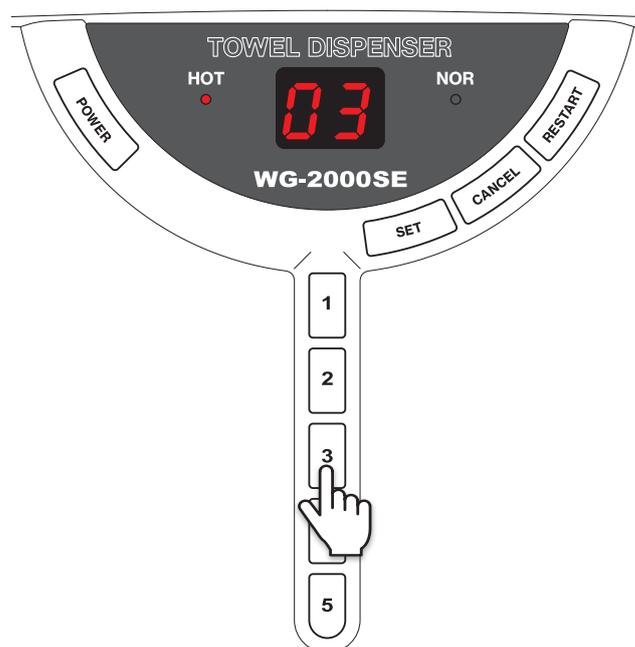
1 タオルトレイを開けます。



2 数量ボタンで使用したいタオルの枚数を選択します。

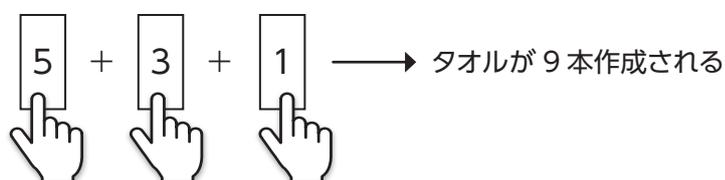
しばらくすると、タオルトレイに押しした数量ボタン分のタオルが出てきます。

- 使いはじめは、温かいおしぼりが出てくるまで 20 分程度かかります。



MEMO 連続で数量ボタンを押すと、押しした数量ボタンの数の合計分のタオルが出ます。

例) 「5」 + 「3」 + 「1」と連続で押した場合



設定方法

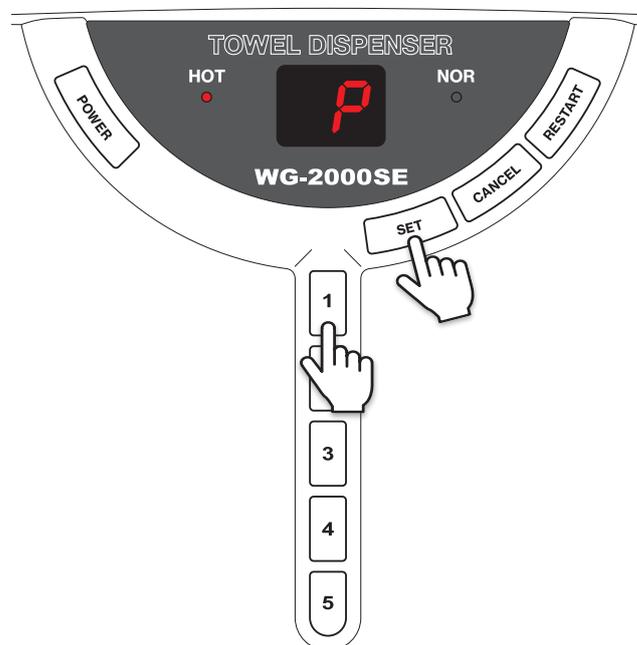
タオルの長さ設定

タオルの長さを 20 ～ 35cm の範囲で 1cm 単位に設定できます。(初期設定 : 25cm)

1 入力 (SET) ボタンを押しながら、数量ボタンの「1」を押します。

表示ディスプレイに「P」と表示された後、数字が点滅表示されます。

初期設定では「25」が点滅します。

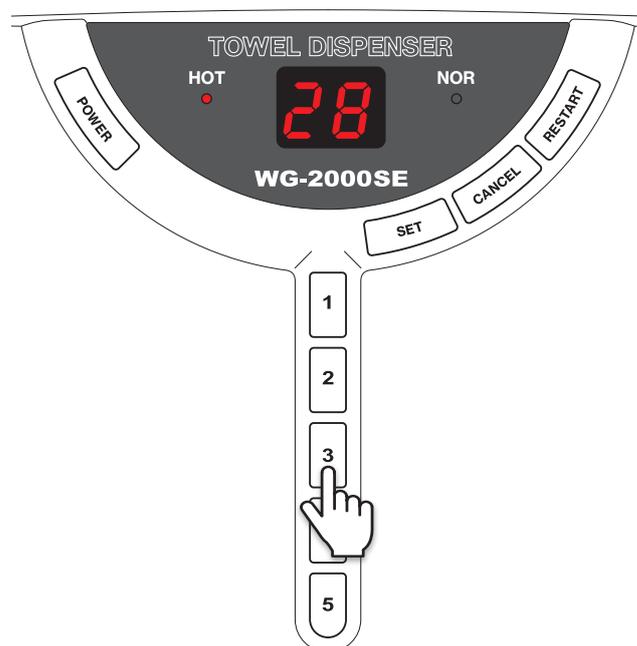


2 数値が点滅中に、数量ボタンを押して長さ (cm) を設定します。

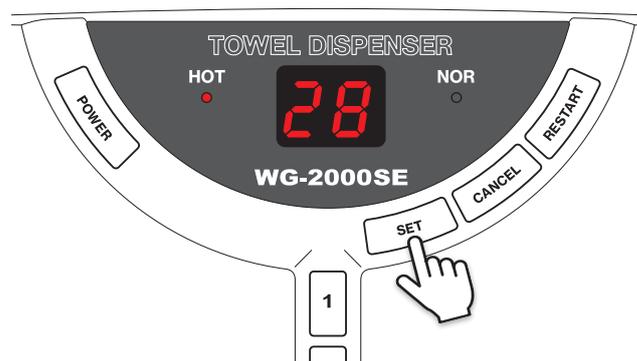
押した数量分だけ設定値が加算されます。

(例) 「25」が点滅中に「3」を押すと、「28」になります。

- 「35」が点滅中に数量ボタンを押すと、「20」に戻ります。



3 希望の数値になったら、入力 (SET) ボタンを押して、設定を確定します。



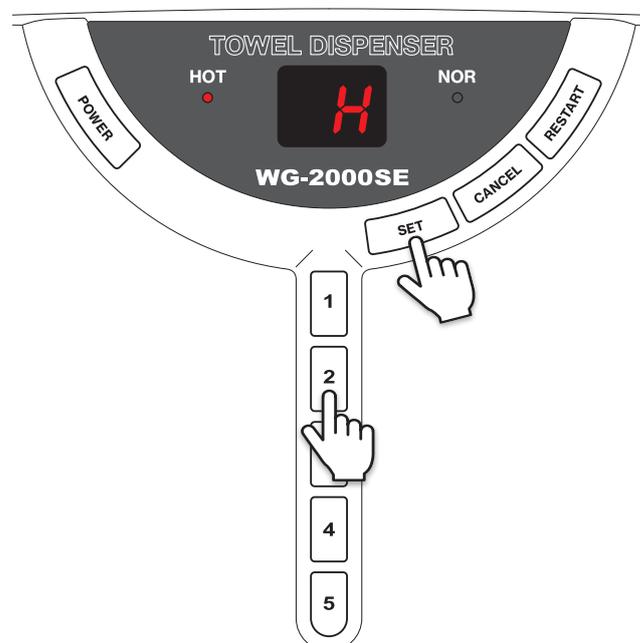
ヒーターの温度設定

タオルを濡らす水の温度を 60 ～ 95℃の範囲で 1℃単位に設定できます。(初期設定：95℃)
設定するときは、モード切り替えスイッチを「HOT (温)」(|) に設定してください。

1 入力 (SET) ボタンを押しながら、数量ボタンの「2」を押します。

表示ディスプレイに「H」と表示された後、数字が点滅表示されます。

初期設定では「95」が点滅します。

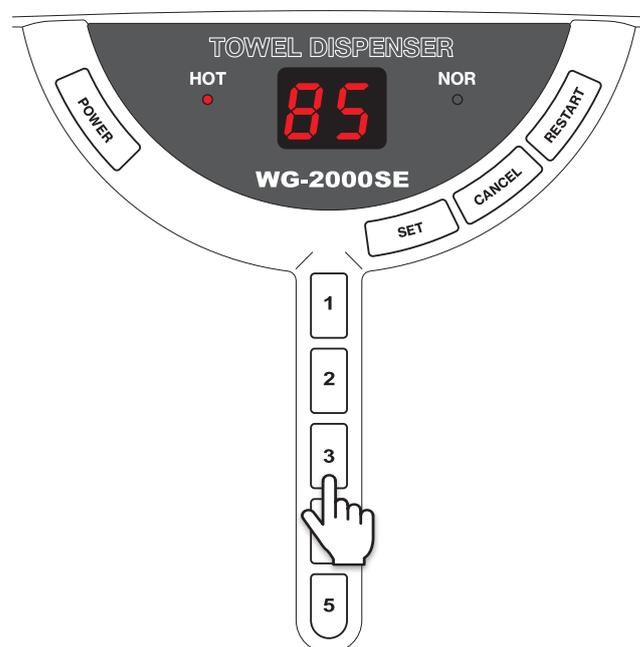


2 数値が点滅中に、数量ボタンを押して温度(℃)を設定します。

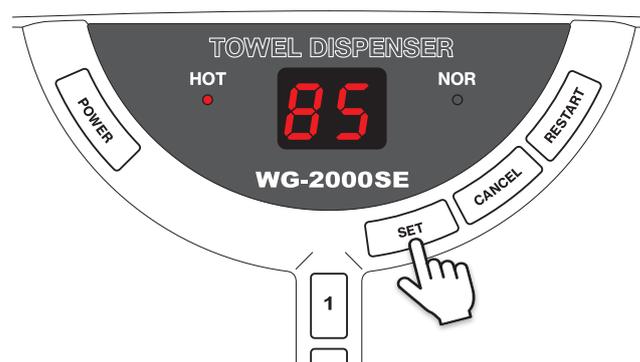
押した数量分だけ設定値が加算されます。

(例) 「80」が点滅中に「5」を押すと、「85」になります。

- 「95」が点滅中に数量ボタンを押すと、「60」に戻ります。



3 希望の数値になったら、入力 (SET) ボタンを押して、設定を確定します。



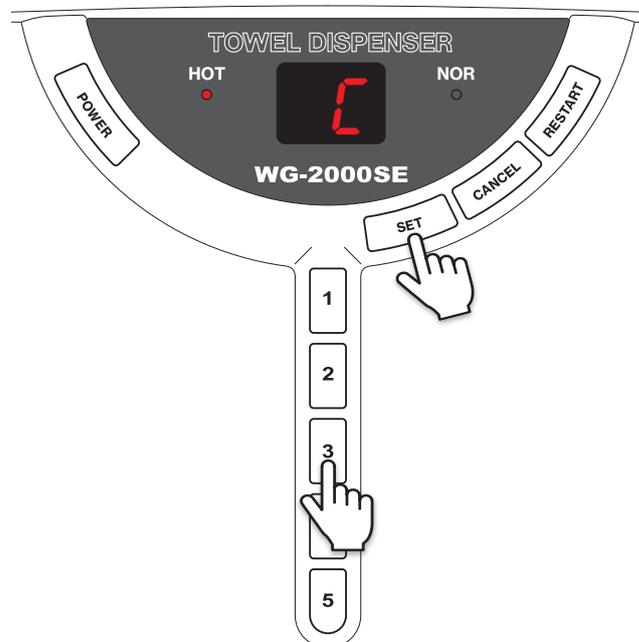
凍結防止用温度の設定

凍結を防止するため 2～15℃の範囲で 1℃単位に水を加熱・保温できます。(初期設定:7℃)
設定するときは、モード切り替えスイッチを「NOR (冷)」(○) に設定してください。

1 入力 (SET) ボタンを押しながら、数量ボタンの「3」を押します。

表示ディスプレイに「C」と表示された後、数字が点滅表示されます。

初期設定では「7」が点滅します。

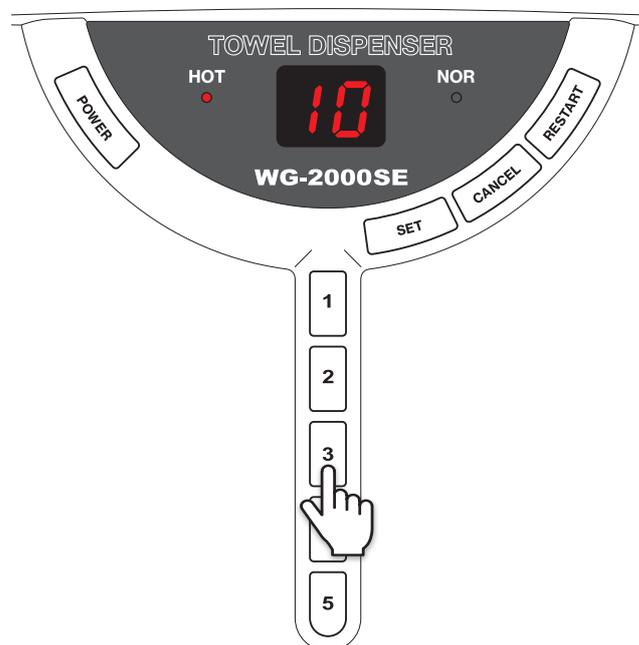


2 数値が点滅中に、数量ボタンを押して温度(℃)を設定します。

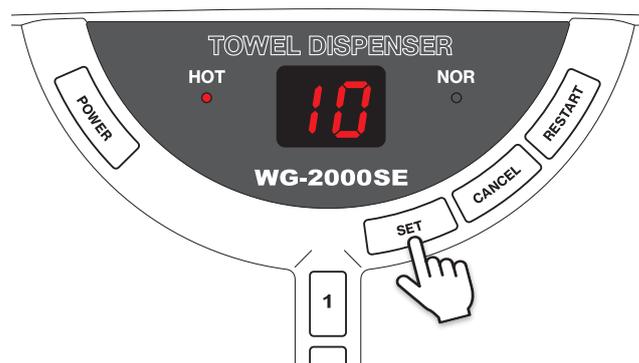
押した数量分だけ設定値が加算されます。

(例) 「7」が点滅中に「3」を押すと、「10」になります。

- 「15」が点滅中に数量ボタンを押すと、「2」に戻ります。



3 希望の数値になったら、入力 (SET) ボタンを押して、設定を確定します。

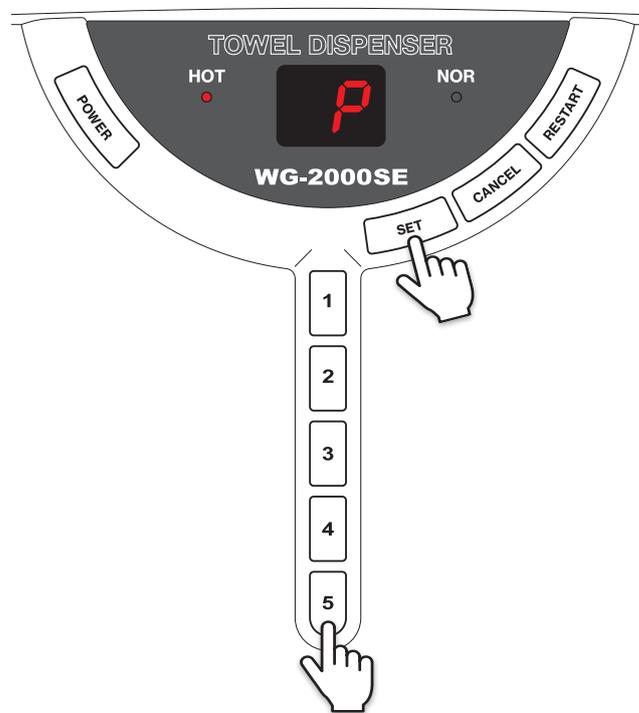


水量の設定

用途に合わせて、タオルの濡れ具合を1～20の間で任意に設定することが可能です。(初期設定:7から20の間)

1 入力 (SET) ボタンを押しながら、数量ボタンの「5」を押します。

表示ディスプレイに数字が点滅表示されます。

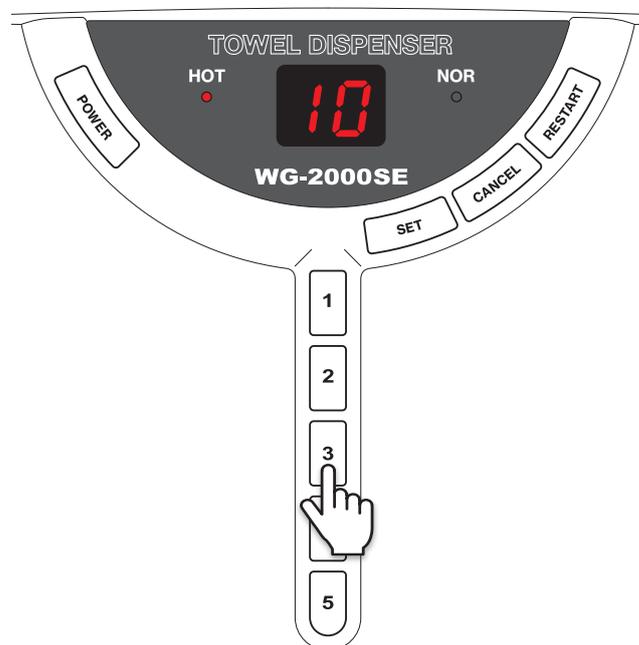


2 数値が点滅中に、数量ボタンを押して濡れ具合を設定します。

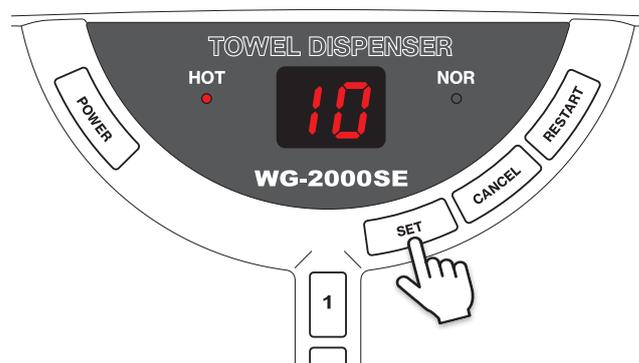
押した数量分だけ設定値が加算されます。

(例) 「7」が点滅中に「3」を押すと、「10」になります。

- 「20」が点滅中に数量ボタンを押すと、「1」に戻ります。



3 希望の数値になったら、入力 (SET) ボタンを押して、設定を確定します。

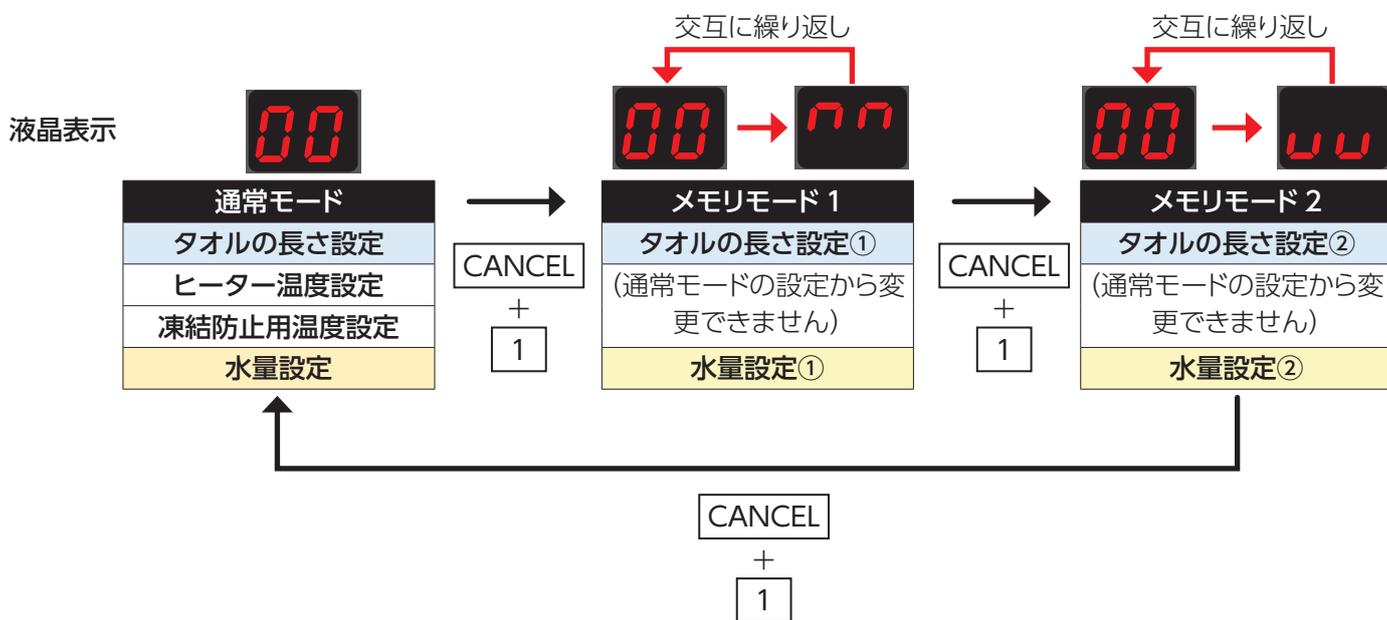
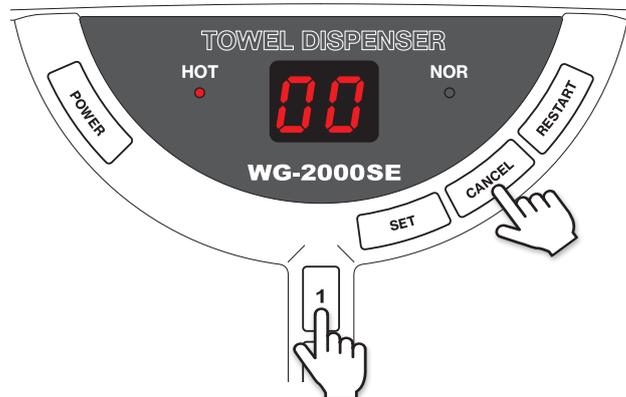


メモリ運転

「タオルの長さ設定」と「水量設定」をメモリに記憶し、用途に合わせて切り替えてタオルを作成することができます。

取消 (CANCEL) ボタンを押しながら、「1」を押すことで、以下のようにモードが切り替わります。

「ヒーター温度設定」と「凍結防止用温度設定」は、通常モードの設定から変更できません。



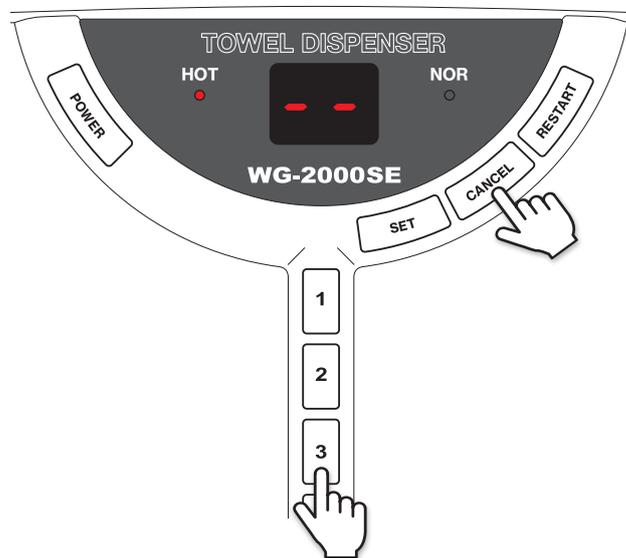
カウント機能

タオルの作成本数をカウントし、表示する機能です。

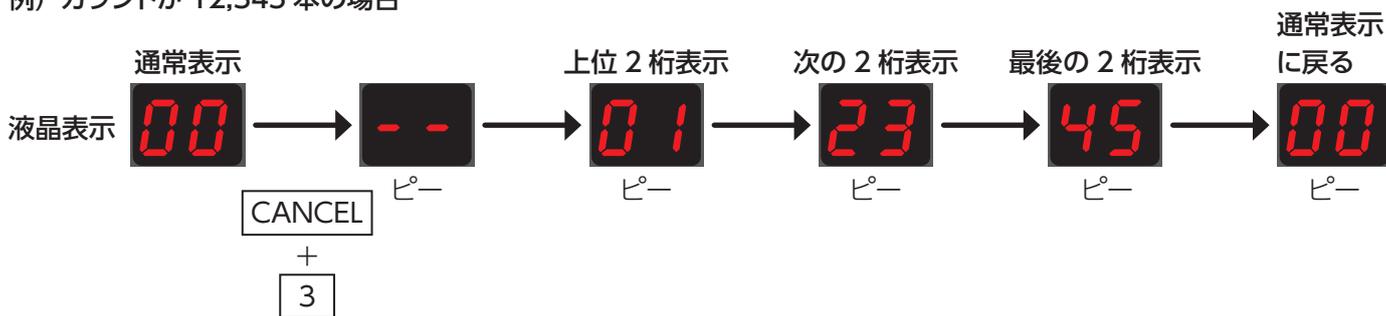
- エラーなどにより実際のカウント数と誤差が生じる場合があります。
- カウントが「60,000」を超えた場合は、カウンタ値が「0」に戻り、再度0からカウントを行います。

取消 (CANCEL) ボタンを押しながら、「3」を押します。

電子音 (ピー) が鳴り、以下のように作成本数を表示します。
桁数が3桁以上の場合、上位2桁ずつ順番に表示されます。



例) カウントが 12,345 本の場合

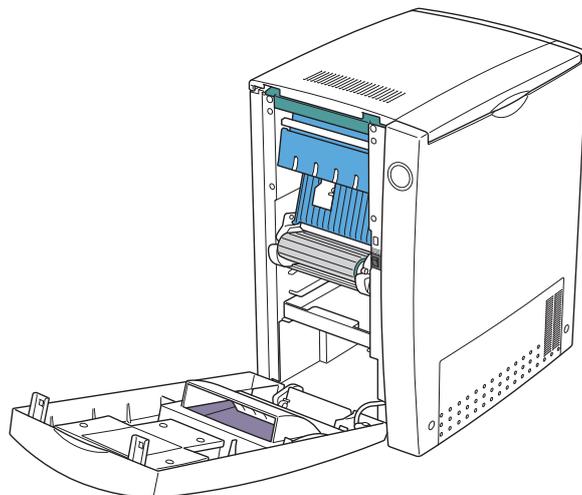


ロール紙が詰まったときは

本体内でカッター刃にロール紙が絡まった場合に、カッター刃を逆回転し、紙詰まりを解消します。

1 前面パネルを開きます。

前面パネルを開けると、表示ディスプレイに「E5」と表示されます。



2 取消 (CANCEL) ボタンを押してカッター刃を逆回転させ、カッター刃を作業しやすい位置で止めます。

取消 (CANCEL) ボタンを押している間はカッター刃が逆回転し続けます。



3 詰まったロール紙をピンセット等で取り除きます。



注意

カッター部に手を触れないでください。
けがの原因になります。



4 詰まり箇所を取り除いたら、主電源スイッチをいったんオフにした後、再度オンにして本体をリセットします。

リセット処理を行わないと「E4」エラー (カッターモーター異常) の原因となります。

お手入れ

本体を衛生的に利用いただくため、必ず定期的にお手入れしてください。

| お手入れ時期 | お手入れ場所 | 清掃方法 | 清掃方法 |
|----------|--------------------|---|---|
| 毎日 | タオルトレイ |  | 汚れをふきんなどで拭き取ります。 ● 除菌液を使用するとより効果的です |
| | 水受け皿 |  | 汚れをふきんなどで拭き取ります。 ● 除菌液を使用するとより効果的です |
| 1～2週間に一度 | 給水タンク 給水タンクキャップ |  | 汚れをふきんなどで拭き取ります。 ● 溝にたまった汚れはブラシ等で磨くときれいに落とせます。 ● 除菌液を使用するとより効果的です |
| | 給水タンク周辺 |  | 汚れをふきんなどで拭き取ります。 ● 除菌液を使用するとより効果的です |
| 1カ月に一度 | ロール紙 収納部周辺 |  | ロール紙収納部と周辺の汚れをふきんなどで拭き取ります。 ● 除菌液を使用するとより効果的です |
| | シリコンベルト ユニット周辺 |  | シリコンベルトユニットと周辺の汚れをふきんなどで拭き取ります。 ● 除菌液を使用するとより効果的です |

異常時の点検項目

本体に異常がみられたり、表示ディスプレイにエラーコードが表示された場合は、以下の点検項目をご確認ください。

| 症状 | 点検・確認内容 | 参照ページ |
|---|---|------------------|
| 「E1」と表示される (ロール紙切れ) | ロール紙がなくなっていないか確認する | 13 ページ |
| | ロール紙が所定の場所にセットされているか確認する | |
| 「E2」と表示される (水切れ) | 給水タンクに水が入っているか確認する | 14 ページ |
| | 給水タンクの挿入方向は正しいか確認する | |
| 「E3」と表示される (紙詰まり・モーター異常) または 「E4」と表示される (紙詰まり・モーター異常) | ロール紙は所定の位置にセットされているか確認する | 13 ページ 22 ページ |
| | 本体内でロール紙が詰まっていないか確認する | |
| | シリコンベルトユニット内でロール紙が詰まっていないか確認する | |
| 「E5」と表示される (前面パネルが開いている) | 前面パネルが閉じているか確認する | 14 ページ |
| | 水受けトレイの挿入向きが正しいか確認する | 14 ページ |
| 「F1」と表示される (電圧低下) | 電源プラグがコンセントに確実に差し込まれているか確認する | — |
| | 別フロアの差し込み口で動作するか確認する | |
| 電源が入らない | 電源プラグがコンセントに確実に差し込まれているか確認する | — |
| | ヒューズ (8A) が切れていないか確認する | — |
| |  | — |
| | 主電源スイッチがオン () になっていることを確認する | 14 ページ |
| タオルが出ない | 本体の中にロール紙がセットされているか確認する | 13 ページ |
| | タオルカバーにロール紙が正しく挿入されているか確認する | 13 ページ |
| | シリコンベルトユニットに紙が詰まっていないか確認する | 22 ページ |
| 温かくならない | モード切り替えスイッチが「HOT (温)」 () になっていることを確認する | 15 ページ |
| ロール紙が濡れない | 水量設定を変更する | 21 ページ |
| | 紙詰まりがないか確認する | 22 ページ |

仕様

| | |
|---------|-------------------------------|
| 製品名 | おしぼりふく蔵 WG-2000SE |
| 製品型式 | SOT-2001H |
| 電源 | AC100V 50/60Hz |
| 給水タンク容量 | 2.4L |
| 消費電力 | 350W |
| 使用温度範囲 | 3℃～35℃ |
| 外形寸法 | 幅 300mm × 奥行 430mm × 高さ 500mm |
| 本体質量 | 13kg (本体のみ) |

お問い合わせ先

おしぼりふく蔵 サポートセンター

TEL: **0280-76-0630**

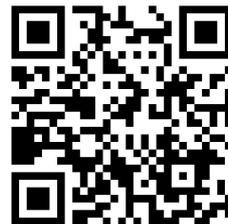
(受付時間) 平日 9:00 ~ 17:00

FAX: 0280-76-0612

初期セットアップ動画



水抜き手順動画



株式会社ウイング

〒306-0125 茨城県古河市仁連 351

<http://wing-koga.com>